

R5年度 小学生版機関紙 授業での活用例

★本機関紙は上下で構成が分かれております。自然災害と温暖化について知り、周りの人や世界の困っている人を思いやることの大切さを学ぶ機会に、本紙を道徳の授業や防災学習等でご活用、ご紹介ください。

《ねらい》

- ・バヌアツを例に、自分の周りで自然災害が起きた時に何に困るかを考える。
- ・気候変動がもたらす影響と自分にできることを考える。
- ・1円玉募金がどのように役に立っているのか認識を促し、日頃の活動への意欲を増加させる。

《展開案》

- ① 機関紙の上半分を用いてこれらの自然災害が起きた時、バヌアツの人々が何に困っているかを考える。



例：じしん→家が壊れる。道路が壊れて物が運べなくなる。火事が起きる。

つなみ→家や人が流される。

地すべり→家が流される、人が生き埋めになる。

台風・豪雨・洪水→家が浸水する。家に住めなくなる。

- ② これらの自然災害はバヌアツだけでなく、日本で起きてても同様の被害が出る。機関紙の下半分を用いて、自然災害に対して今の自分ができることを考える。

自然災害に対してみんなのたすけあいのできること

いま、バヌアツ共和国の子どもたちはどんなことに困っているのでしょうか？世界で、日本で、どのような自然災害があるのでしょうか？
 近くの友だち・世界の友だちのために、自分たちができることを考えて、先生に相談してみましょう。



知る・学ぶ **伝える**

日本国内でも地震や津波、地すべり、洪水などの災害は発生しています。
 もしも身近で起こったら…
 今のあなたなら、その時、何ができますか？

**みんなのお小づかいを
少しずつ集めると…**

**バヌアツの子どもたちを
次にくる災害から守ることができます。**

学校で防災・減災の正しい学習をして、災害を軽減する知識を身につける事ができます。



学校で防災・減災の正しい学習をして、災害を軽減する知識を身につける事ができます。



学校で防災・減災の正しい学習をして、災害を軽減する知識を身につける事ができます。



First Aid
 学校に救急セットを
 配備できます。

指導者の皆様へ
 国内外問わず、世界中で自然災害による甚大な被害が発生しています。自然災害と地球温暖化について知り、周りの人や世界の困っている人を思いやることの大切さを学ぶ機会に、本紙を道徳の授業や防災学習等でご活用、ご紹介ください。






国際社会全体の開発目標である SDGs の実現には、赤十字も深く関与しており、目標の達成に向け貢献しています。
 東京赤十字看護学院(0学生) 〒154-8547 東京都大田区 4 月 1 日 発行 | 日本赤十字社 事務局 パートナーシップ推進部 防災・減災推進課 青少科・ボランティア課
 東京駅前ビル2F 〒100-0001 TEL: 03-3433-7083 <https://www.jrc.or.jp/>

例：日本国内でも多くの自然災害がある。身近でこれらの災害が起きた時どのような被害が起るかを考える。また、バヌアツの人たちのためには何ができるかを考える。みんながお小遣いを少しずつ出し合って募金を集めれば、バヌアツの人たちが防災の正しい知識を身に付けることができ、災害が起きた時に安全に逃げる事ができる。

- ③ 今の学びや活動が、バヌアツの人の命を救い、災害時の周りの人の命を救う。自分にできることは微力だけど無力ではない。学び、伝え、行動しよう。